

法人税法

<本日のスケジュール>

- 10:30~11:00(30分) セミナー
- 11:00~ 質疑応答

※ 10:30になりましたら、セミナーが開始されます。今しばらくお待ちください。

※ 質問は常時受け付けております。「Q&A」ボタンから入力してください。

セミナー内容

- 1 科目の特徴
- 2 本試験の傾向と対策
- 3 9月入学コースの紹介

1 科目の特徴

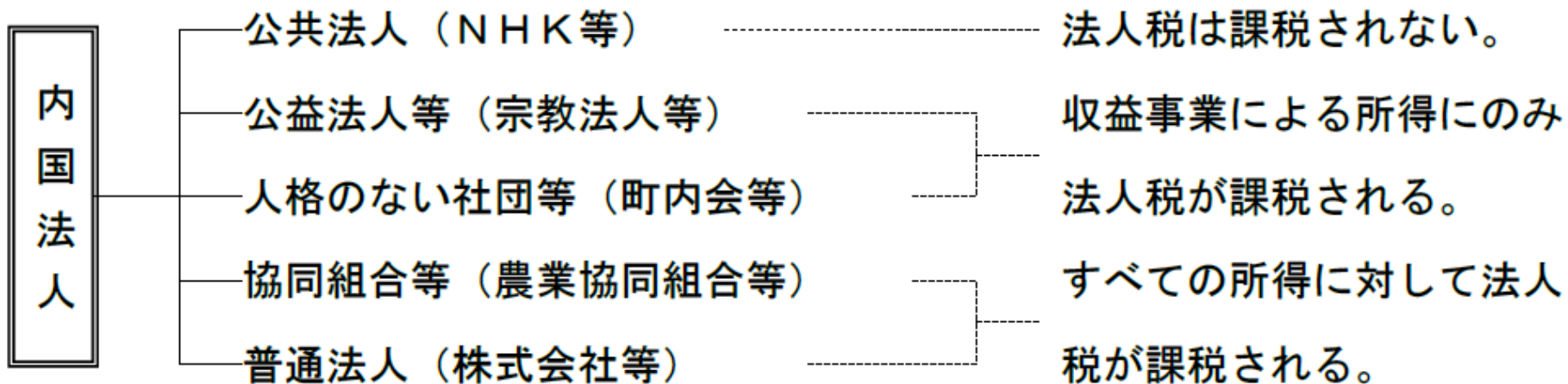
① 科目の概要

法人税は、法人の「もうけ」に対して課され、法人が納める税金です。この「もうけ」の計算について“**課税の公平**”という観点から一定のルールが設けられており、そのルールが「法人税法」です。

なお、法人税法では、法人を株式会社をはじめとする「普通法人」の他に「公共法人」「公益法人等」「人格のない社団等」

「協同組合等」の5つに区分しており、このうち、法人税が課税されるのは普通法人と協同組合等であり、公益法人等と人格のない社団等には収益事業についてのみ法人税が課されます。

また、公共法人には法人税は課されません。



現在、日本には約280万社の法人が存在しますが、「法人税額を正しく計算して納付する」ということは、ほとんどすべての法人にとって避けられない手続きであり、その額は高額になります。そのため、**法人税法は税理士に必須の知識**なのです。

② 具体的な学習内容

● 理論

法人税法及び租税特別措置法の法人税に関する規定（条文）の内容と適用関係を理解して、さらに覚えることが学習の中心となります。

条文の暗記は理論教材の「理論マスター」を使って行うことになりますが、最初は慣れない税法の条文の暗記に苦戦をするかもしれません。

何度も声に出して暗唱をしていくことにより「条文を暗記すること」に慣れていって下さい。

<具体例>

○益金の額

内国法人の各事業年度の所得の金額の計算上その事業年度の益金の額に算入すべき金額は、別段の定めがあるものを除き、資産の販売、有償又は無償による資産の譲渡又は役務の提供、無償による資産の譲受けその他の取引で資本等取引以外のものに係るその事業年度の収益の額とする。

●計算

法人税は、法人の「もうけ」に対して課す税金ですが、この法人税の計算対象となる「もうけ」のことを「所得金額」と言います。

そして、この所得金額に税率を乗じて法人税の額（税額）を計算することになることから、計算では主に「所得金額」と「法人税額」の計算方法を学習することになります。

③ 学習上のメリット（実務との関連性）

法人税は申告納税方式の租税であるため、法人が自ら税額を計算して、確定申告書を作成し、それを税務署長に提出しなければなりません。

確定申告書の提出期限は原則として期末から2月以内に、この提出期限までに法人税額を納付することになります。

なお、法人税は納めるべき税金がない場合にも申告が必要なため、実務での重要性は極めて高く、その知識は実務において必須と言って過言ではありません。

④ どのような方に向いているか？

法人税法は毎年の税制改正により変更される点が数多くあることから、知識のアップデートは欠かせません。

また、法律に基づく確固たる知識により適正な税金対策を行うことができる税理士は企業にとっては頼もしいパートナーと言えるでしょう。

本試験に合格した後も常に最新の税法を身につけて、その知識を自らの武器とすることにより、規模の大小を問わず法人を相手に末永く仕事を続けたい方には大変向いている科目と言えます。

2 本試験の傾向と対策

① 受験者数・合格者数・合格率の推移

	平成30年 (第68回)	令和元年 (第69回)	令和2年 (第70回)	令和3年 (第71回)	令和4年 (第72回)
受験者数	4,681人	4,260人	3,658人	3,532人	3,454人
合格者数	542人	627人	588人	453人	425人
合格率	11.6%	14.7%	16.1%	12.8%	12.3%

② 出題傾向・難易度・ボリューム

● 理論

(1) 出題傾向

2～3題形式での出題が主流となっています。内容的には法人税法の原則的な考え方を問う問題と近年の改正を中心とした規定の内容を問う問題が出題される場合があります、年によって傾向が異なります。

(2) 難易度・ボリューム

規定を解答する場合には、正確な暗記ができていたかどうかで合否を分けます。

一方、考え方を問う問題では事例問題が出題され、法人税の基本的な制度に関する解釈と適用についての能力が問われることから、理論の丸暗記だけでは対応が難しく、難易度は高くなる傾向にあります。

また、ボリュームは多い傾向にあり、解答にあたって時間的な余裕があることは期待できないと言えるでしょう。

● 計算

(1) 出題傾向

従来は、総合問題が1題出題されていましたが、近年は個別問題形式も出題がされています。

(2) 難易度・ボリューム

難易度が非常に高い論点から比較的得点がしやすい論点まで幅広く出題されており、難しい論点に固執することなく、得点可能な論点をミスなく解答することが合格のために重要と言えるでしょう。

③ 本試験対策（学習のポイント）

● 理論

まずは法人税法の基本的な規定（条文）を理論マスターを使用して覚えることになります。なお、暗記に当たっては闇雲に丸暗記をするのではなく、その規定の適用関係を中心にしっかりと内容を理解したうえで覚えていくことが重要となってきます。

● 計算

所得の金額及び税額を計算するうえで適用がされる多くの規定について、その計算式を覚えることが必要になります。一つ一つの規定の内容を理解し、その計算式を正確に覚えていくことが重要と言えるでしょう。

3 9月入学コースの紹介

【初学者向けコース】

① ベーシックコース

2023年				2024年								
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
				基礎・応用期				直前期				
インプット	法人 所得 【基礎・応用講義】160分×52回							法人 所得 【直前対策講義】180分×9回		合格 情報 講義 (1回)	第74回 税理士 試験	
	法人 所得 【実力テスト】160分×8回							法人 所得 【実力完成答練】180分×6回 【直前予想答練】180分×3回		全国 公開 模試 (1回)		

ベーシックコースは、理論と計算を体系づけて学習するスタンダードなコースです。

複数科目を学習する方や仕事をしながら学習する方も無理なく学習できます。

<使用教材>

基礎・応用期 (9月～4月)	直前期 (5月～7月)
テキスト	直前対策テキスト
トレーニング	理論マスター
ポイントチェック	理論ドクター
理論マスター	答練
理論ドクター（1月～）	全国公開模試
ミニ・実力テスト	

② 年内完結＋上級コース

2023年				2024年							
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
基礎期				応用期				直前期			
インプット	法人 所得			法人 所得				法人 所得			合格情報講義<1回>
	【基礎・応用講義】180分×40回			【上級講義】180分×15回				【直前対策講義】180分×9回			
アウトプット	法人 所得			法人 所得				法人 所得			全国公開模試<1回>
	【実力テスト】180分×5回			【上級演習】180分×15回				【実力完成答練】180分×6回 【直前予想答練】180分×3回			

第74回税理士試験

年内完結＋上級コースは、本試験で頻繁に出題される計算項目を中心に、年内に受験上必要な項目をほぼ網羅できるコースとなっています。
年明けからは問題演習を充実させて、アウトプット力を高めていきます。

<使用教材>

基礎期 (9～12月)	応用期 (1月～4月)	直前期 (5月～7月)
基本テキスト	上級テキスト	直前対策テキスト
トレーニング	上級トレーニング	理論マスター
ポイントチェック	ポイントチェック	理論ドクター
理論マスター	理論マスター	答練
ミニ・実力テスト	理論ドクター	全国公開模試
	上級演習	

③ コース比較 ～カリキュラム～

	ベーシックコース	年内完結＋上級コース
基礎期 (9～12月)	基本論点のインプット	基本事項＋応用論点の インプット
応用期 (1～4月)	基本論点の確認と 応用論点のインプット	基本・応用論点の確認 ＋アウトプット(上級演習)
直前期 (5～7月)	税制改正・特殊論点对策、 ＋アウトプット(答練)	税制改正・特殊論点对策、 ＋アウトプット(答練)

③ コース比較 ～このような方にオススメ！～

ベーシックコース	年内完結＋上級コース
学習時間に制約があるため、無理せず確実に学習を進めたい方	学習時間を比較的多く確保できる方
コツコツと勉強を積み重ねていくことが得意な方	早めに学習範囲の全体像をつかみ、演習中心の学習を進めたい方
年明け以降の科目変更の可能性が低い方	年明け以降の科目変更の可能性がある方

【受験経験者向けコース】 年内上級演習＋上級コース

2023年				2024年								
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
基礎・応用期				応用期				直前期				第74回税理士試験
インプット				法人 所得 【上級講義】180分×15回				法人 所得 【直前対策講義】180分×9回		合格情報講義 (1回)		
				法人 所得 【年内上級演習】160分×13回				法人 所得 【上級演習】180分×15回		法人 所得 【実力完成答練】180分×6回 【直前予想答練】180分×3回	全国公開模試 (1回)	

受験後の自己採点で合格ボーダーライン前後の方を対象に、万が一に備え、受験時の実力を維持するためのコースです。
定期的に問題演習を行うことで、実力の維持、暗記した理論のレベル維持を図ります。

<使用教材>

基礎・応用期 (9～12月)	応用期 (1月～4月)	直前期 (5月～7月)
ポイントチェック	上級テキスト	直前対策テキスト
理論マスター	上級トレーニング	理論マスター
年内上級演習	ポイントチェック	理論ドクター
	理論マスター	答練
	理論ドクター	全国公開模試
	上級演習	

<カリキュラム>

基礎・応用期 (9～12月)	アウトプット(年内上級演習)を通じて 基礎・応用論点を確認、実力維持を図る
応用期 (1～4月)	基本・応用論点の確認 +アウトプット(上級演習)
直前期 (5～7月)	税制改正・特殊論点对策、 +アウトプット(答練)

<このような方にオススメ！>

第73回税理士試験の自己採点の結果が、TACの公表しているボーダーラインまで5点程度及ばず、第74回税理士試験に向けて実力維持を図りたい方

第73回税理士試験の自己採点の結果が、TACの公表しているボーダーラインまで10点程度及ばず、かつ、これまでの受験指導校での答案練習成績がおおよそ平均点以上であった方

＜科目変更制度＞～合格していた場合も安心！～

11月末の合格発表後、一定期間、受講科目・受講コースが変更できる制度をご用意しています。

「年内上級演習＋上級コース」で学習していた科目が11月末の合格発表で合格していた場合も、この制度を利用して12月以降から次の科目の学習に進むことができます。

税法の学びはじめてからスタート!

税法実務講座

税法入門+申告書作成 特別割引

「税法入門+申告書作成」は税法の知識ゼロの方に向けて、税法のイロハ、手続き、申告書の作成方法までを体系的に身につけ基本的な申告書を作成できるようになるための講座です。

キャンペーン期間

2023年

7/3(月)~9/27(水)

●各科目

法人税・所得税・消費税：各12回
相続税：全10回 約120分/回

●内 訳

【税法入門】各4回
【申告書作成】法人税・所得税・消費税：各8回
相続税：全6回

●受講料

教材費・消費税10%込

[学習メディア]  ビデオブース講座  Web通信講座

科目	コースNo.	クラスNo.	通常受講料	キャンペーン 受講料
法人税	240861	ビデオブース 講座 P21参照 Web通信講座 W1	¥49,000	¥45,000
所得税	240862		¥49,000	¥45,000
相続税	240863		¥40,000	¥36,000
消費税	240864		¥49,000	¥45,000
4科目セット	240865		¥184,000	¥169,000

通常受講料より
¥4,000 割引

4科目セットは
さらにお得!

HPで学習内容や
講義・教材の
確認できます。



※当キャンペーンは、FP継続教育研修の
対象外となります。

※受講期限はビデオブース講座、Web通
信講座ともに2024年7月末日までと
なります。

※税法入門+申告書作成の学習内容に
関する質問方法につきましては、税法実
務講座の受講ガイドでご確認ください。